

うねる秋

北アルプス・立山連峰へと向かう
観光ルート、富山県の立山黒部アル

ペンルート周辺では、標高の高い場所から木々が色づき始め、紅葉の見頃を迎えている。標高約2450mの室堂周辺から天狗平のあたりではすでに見頃を迎えていて、標高が約

5000m低い弥陀ヶ原周辺でも色づきが進んでいる。

同ルートでバスなどを運行する立山黒部貫光（富山市）によると、紅葉は秋の深まりとともに徐々に山を下り、10月下旬まで楽しめるという。
（本社へりから、橋本弦）

